

国際交流講演会

「世界が語る横山大観」

印象派を研究するフランスのジベルニー印象派美術館、広く日本美術を収蔵するアメリカのボストン美術館、この名門美術館の学芸員とマサチューセッツ大学美術教授が、横山大観をテーマに選び、日本の大観研究者とともに連携して調査研究、その魅力と世界での意義について語ります。この異文化の視点から語られる講演内容は、横山大観を通して再発見する日本の近代美術の輝きであり、聴くことができない貴重な知見と感動をお届けします。

★ 講演内容 ★

＜ご挨拶・横山大観記念館代表理事 横山浩一＞

東京文化財研究所上席学芸員
塩谷 純

マサチューセッツ大学教授
Victoria Weston

ジベルニー印象派美術館
館長 Scyrril Ciama

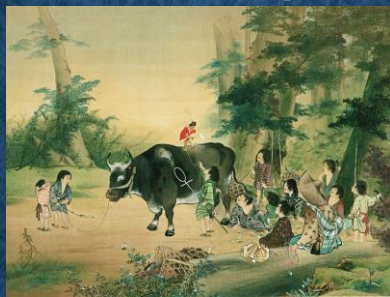
「山路制作の経緯」



横山大観《山路部分》

横山大観記念館主席学芸員
佐藤志乃

「大観の初期作品におけるアーネスト・フェノロサの痕跡」



横山大観《村童観猿翁》

ジベルニー印象派美術館
学芸員 Marie Delbarre

「モネと大観、不可能な主題？」



モネ《睡蓮、水草の反映》

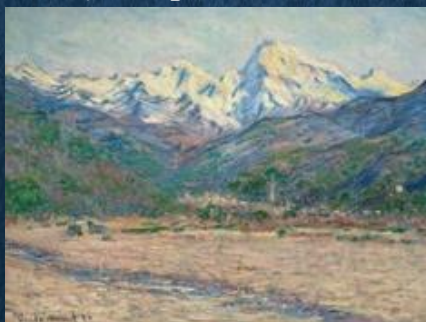
ボストン美術館日本美術担当主席
学芸員 Anne Nishimura

「モネと大観」



横山大観《阿やめ》部分

「モネの山」



モネ《山》

「ボストン美術館所蔵の大観作品」



横山大観《月下の波》

2025年 **1月23日 13:30~16:30** 開場**13:00**

参加費：無料

会場：東京文化財研究所

東京都台東区上野公園13-43

定員：先着100名

※日本語翻訳文は当日配布いたします



配信：13:30~
<https://youtube.com/live/G7rQF7kLkpQ?feature=share>

